

熊本スーパーハイスクール (KSH) 構想県指定校事業

指定校種 (エンパワーメント)ハイスクール	学校名 熊本県立湧心館高等学校 (通信制)
--------------------------	--------------------------

1 事業主題

高い自己管理能力を兼ね備え、地域や社会に貢献できる人材の育成
～主体的に学習に取り組む態度を高める探究活動と学習評価の開発～

2 事業概要

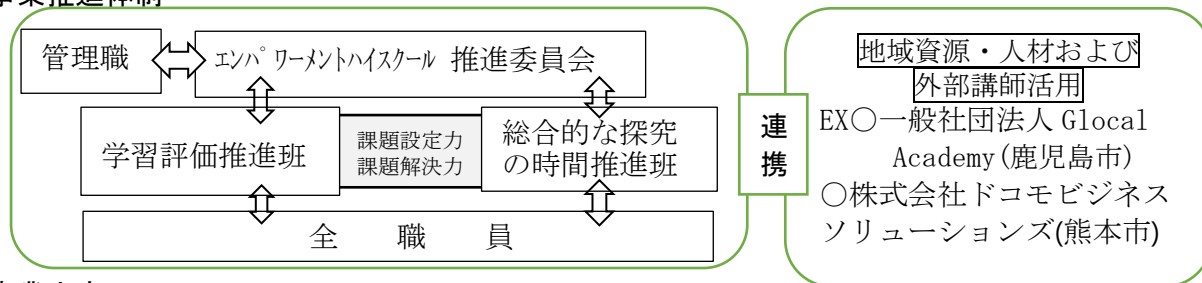
【事業1】 「総合的な探究の時間」における「通信制課程の課題研究」の実践・開発

- (1) 希望者による課題研究の取組
- (2) 「総合的な探究の時間」の充実に向けた支援企画の実施
- (3) 外部講師を招聘した講演会

【事業2】 自己肯定感及び「主体的に学習に取り組む態度」を高める学習評価の開発・実践

- (1) 各教科における形成的学習評価の開発・実践
- (2) 「総合的な探究の時間」における探究活動 (課題研究) の学習評価の開発・実践

3 事業推進体制



4 事業内容

【事業全体】 : 生徒対象アンケート調査 (生徒対象)

- 調査項目
- ①自分の興味関心のあることに対して調べたり、試行錯誤したりすることが好きだ。
 - ②物事に取り組む時に見通しや計画性を持って取り組むことができる。
 - ③体験したことや結果に対して、上手くいった理由や上手く行かなかった理由を考える。
 - ④思い通りにいかない事や困難なことがあっても最後まで強く取り組むことができる
 - ⑤自分が社会参画することで世の中を変えることができる (変わっていく) と思う。

【事業1】 「総合的な探究の時間」における探究活動 (課題研究) の開発・実践

(1) 「総合的な探究の時間」における課題研究 (選択希望制)

1 単位を半年で取り組む。前期に履修習得した場合は、後期受講無
生徒が実際に取り組んだ課題研究テーマ例

○地元の公園をきれいにしよう	○大谷翔平から学ぶ精神的な強さ
○キャラクターによる地域活性化 キャラクターの変化とその影響	○よりよい睡眠のために私ができること
○学習の場におけるAIの活用のは是非について	○パートさんの不満をなくすためにできること
○高齢者に必要な栄養とは	○人々が受け入れやすい昆虫食の形
○転売を減らすためにはどんな取り組みをすればよいか	○G7とか言ってるけど、どういうグループか調べてみる

(2) 第1回総探支援企画 (講演会) 6月実施

演題: 「これからの社会で一步踏み出す力」

講師: 一般社団法人 Glocal Academy 岡本尚也氏 参加生徒: 51名

○自己の内面・可能性を見つめる機会に。○予測外の出来事は可能性を広げるチャンス。

熊本スーパーハイスクール (KSH) 構想県指定校事業

(3) 特別企画 探究活動に関する講演会 10月実施

演題：「docomo連携授業 5Gを活用した社会問題解決授業」

講師：株式会社ドコモビジネスソリューションズ 酒井様、高橋様 参加生徒：15名

○人件費、人材育成、労働力不足などの企業が抱える社会問題を解決する方法を探る



【最新のデバイス (temi) を実際に体験】

【社会課題を解決する方法を考える】

生徒感想

・これからも便利な技術がもっと増えていく中で、その技術をどう使っていくか、どのように使えばもっと便利になるかを考える力が必要になってくると感じた。

(4) 第2回総探支援企画 (江津湖清掃・自然観察・文学碑鑑賞) 11月実施→外の世界を見つめる！



【江津湖を背景に参加者全員で記念写真】

【文学碑鑑賞の様子】

【清掃の様子】

① SDGsの視点から、「ふるさと熊本の宝：江津湖」の価値を再認識する。

② 清掃活動を行いながら、江津湖の自然を観察する。

③ 文学碑から、先哲の「感性」や「思い」を学ぶ。

④ 江津湖清掃・散策から感じた事をアクロスティックで表現する。お題【えずのうみ】

生徒作品

江津のうみ
透き通った水
野に咲く花々
湖をはばたく鳥たち
みな全てが熊本のたから

映像では伝わらない
すばらしさ
ノスタルジックな
美しさ
見惚れてしまう

えんえんと
ずんずん
のどかな時を新たな友と
うきうきで
みんなとまた話したい

【事業2】自己肯定感及び「主体的に学習に取り組む態度」を育成する学習評価の開発と実践

(1) 各教科のレポートに設定された「学習の振り返り」に取り組み、学びへの主体性を育む。

毎回のレポートで振り返り【例】

今回のレポートの内容について、もっと学びたいことや生活に活かしたいことを書きましょう



先生による
フィード
バック

主体性の向上



(2) 総合的な探究の時間「課題研究」において観点別評価に取り組み、学びへの主体性を育む。

「知識・技能」：①自分の興味・関心事項、関連キーワード ②取組内容と方法に関する5W1H

「思考・判断・表現」：①テーマ設定の理由、調査実験の方法 ②研究によって分かった事

「学びに向かう力」：①テーマ・問いの設定、仮説、調査・実験方法 ②今後の課題等

5 今後の取組予定

(2) R6年度：「県立学校学びの祭典」での研究発表

課題研究の充実・協力校との共同研究・高校生国際シンポジウム挑戦